合衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文	◎科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ
-----------------------------	-----------------------------------

(略称) 米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

米国側書簡	日本側書簡	目				
米国側書簡	日本側書簡	次		昭和六十二章	昭和六十二名	昭和六十二
				昭和六十二年 六月 十五日	昭和六十二年 四月二十八日	昭和六十二年 四月二十八日 東京で
一九八一	一九七九	ページ	(外務省告示第三一四号)	告示	効力発生	東京で

(科学技 政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の 長に関する交換公文) 術 K おける研究開発の ための 協力に関する日

本

延 国

(日本側書

(跳文)

することを、 に基づき、千九百八十七年十月三十一日まで延長されるものと 最近の討 政 る 両 府との間 研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリ 一政府間で交換された書簡によつて延長された科学技術に 日にワシントンで署名され、千九百八十五年四月二十六日 書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、 議に言及するとともに、 の協定 日本国政府に代わつて提案する光栄を有します。 の延長に関する両政府の代表者の間 前記の協定は、 千九百八十 同協定第九条 における カ合衆国 年五 お H ĸ 月

か 間 つて敬意を表します。 得るものであるときは、 本大臣は、 の合意を構成するものとすることを提案する光栄を有します。 本大臣は、 以上を申し進めるに際し、 更に、 前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾 との書簡及び閣下の返簡が、 ことに重ねて閣下に向 両政府

千九百八十七年四月二十八日に東京で

(Japanese Note)

Tokyo, April 28, 1987

Excellency,

Japan that, pursuant to Article IX thereof, and to propose on behalf of the Government of between the two governments on 26 April, 1985, October, 1987. Research and Development in Science and Governments of Japan and the United States of discussions between the representatives of the said agreement will be extended until 31 1980 and extended by the Notes exchanged Technology, signed at Washington on 1 May, the United States of America on Cooperation in Agreement between the Governments of Japan and America concerning the extension of the I have the honor to refer to the recent

agreement between the two governments Excellency's Note in reply shall constitute an honor to suggest that this note and Your United States of America, I have further the I avail myself of this opportunity to renew If the above proposal is acceptable to the

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest

For the Minister for Foreign Affairs

(Signed) Tetsuya Endo
Director-General for
Scientific and Technological Affairs

アメリカ合衆国 特命全権大使

> 科学技術審議官 遠藤哲也

外務大臣に代わる

マイケル・J・マンスフィールド 閣下

His Excellency
Mr. Michael J. Mansfield
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of
the United States of America

(米国側書簡

(文)

の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次

(日本側書簡

成するものとすることに同意する光栄を有します。 るとともに、閣下の書簡及びこの返簡が、両政府間の合意を構 得るものであることを、アメリカ合衆国政府に代わつて確認す 本使は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾し

つて敬意を表します。 本使は、以上を申し進めるに際し、 ととに重ねて閣下に向か

千九百八十七年四月二十八日に東京で

アメリカ 合衆 国特 命全権大使に代わる

アメリカ合衆国大使館公使 デセイ・アンダーソン

外務大臣 倉成 正閣下

(U.S. Note)

Tokyo, April 28, 1987

Excellency,

which reads as follows: I have the honor to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date,

"(Japanese Note)"

note in reply shall constitute an agreement between the two governments. to agree that Your Excellency's Note and this acceptable to the United States of America and of America that the above proposal behalf of the Government of the United States I have further the honor to confirm on

to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

consideration.

of America and Plenipotentiary of the United States For the Ambassador Extraordinary

(Signed) the United States of America Minister Counsellor Desaix Anderson of the Embassy of

Minister for Foreign Affairs Tadashi Kuranari His Excellency

米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

(参考)

この取極は、昭和五十五年に署名された米国との科学技術研究開発協力協定(昭和五十五年二国

間条約集及び条約集第三一九九号参照)の有効期間を更に昭和六十二年十月三十一日まで延長する

ことについて定めたものである。